

質問者氏名	質問事項	質問要旨
2番 勝俣 公好	1 台風・地震等自然災害について	<p>今年も各地で台風による被害、また、大阪府北部地震、北海道胆振東部地震による被害も甚大でした。</p> <p>災害はいつ起こるか分かりませんが、町は台風・地震等で各地域が分断されやすく、住民、観光客の避難、災害で負傷者が出たときの救急搬送、避難所への救援物資等の受け入れ等に難航が予想されます。</p> <p>そこで3点お伺いいたします。</p> <p>①町にはゴルフ場が多くあり、ゴルフ場内に緊急臨時ヘリポート、観光客等避難所開設の提携をしてはどうか</p> <p>②各地域が分断された場合、一刻も早い道路等の復旧をしなければなりません。各地域の建設会社所有の重機が不足することが想定されるため、建設会社以外の重機を所有している業者等に、災害時に出動してもらうための提携をしてはどうか</p> <p>③台風、大雨の時に防災行政無線が聞こえづらく、情報が伝わらない。また、携帯電話を持たない高齢者も多く、防災メールだけでは不十分なことから、ポケベルを導入する自治体が増えていると聞くが、町での導入の検討状況について</p>
7番 村野由紀子	1 箱根町の健康対策等について	<p>①感染症・風しんについて</p> <p>平成23年から海外で感染して、帰国後発症する輸入例が散見されるようになり、30年には、7月下旬ころから関東地方を中心に患者数の報告が増加しています。</p> <p>厚生労働省は風しんに関する特定感染症予防指針を改正し、感染経路の把握等の調査、原則として全例にウィルス遺伝子</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(村野由紀子)		<p>検査を実施することで、確実に風しんを診断することとしています。予防接種の勧奨、啓発が重要と考えます。箱根町の現状と対応についてお伺いします。</p> <p>②減塩対策について 塩分の取りすぎは、高血圧や動脈硬化等の生活習慣病や腎疾患の原因になるなど、健康を考える上で、大変重要です。塩分はあらゆる料理に使われていることから摂取量を把握することが難しく、たばこのように自らの意思でコントロールすることは困難です。町民一人一人が意識しなければ取りすぎとなってしまう危険性があります。日本高血圧学会減塩委員会委員長の日下美穂さんは「食塩の過剰は日本人がかかる病気の多くに深くかわり労働力減少を招き、莫大な医療費や介護費を費やし、少子高齢化の我が国にあって、このままの高塩飲食習慣が続くと国は危機に瀕します。減塩は日本人には誰にでも必要な課題です。」と述べられています。箱根町の取組みと対策についてお伺いします。</p> <p>③国民健康保険の保険者努力支援制度について 特定健診受診率の向上、糖尿病等の重症化予防、後発医薬品の使用促進、個人へのインセンティブ提供の実施など医療費適正化にかかる取組みを一定の指標に基づいて保険者として努力していると評価された市町村に対して国から財政支援されます。30年度から本格的に実施されていると思います。 箱根町の評価と取り組むべき指標として挙げられている糖尿病等の重症化予防の</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(村野由紀子)	2 誰もが読書を楽しめる環境づくりについて	<p>取組みと個人へのインセンティブ提供の実施の取組みについてお伺いします。</p> <p>文部科学省が 28 年に全国の教育委員会に通知した学校図書館がガイドラインの中で「発達障がいを含む障がいのある児童・生徒や、日本語能力に応じた支援を必要とする児童・生徒の自立や、社会参画に向けた主体的な取組みを支援する観点から児童一人一人の教育的ニーズに応じた様々な形態の図書資料を充実するよう努めることが望ましい。例えば、点字図書、音声図書、拡大文字図書、LLブック等の整備も有効である」と記載されております。</p> <p>LLブックのLLとはスウェーデン語で、やさしく読めるという意味です。絵や写真、ピクトグラムと呼ばれる絵文字を多く使うなど工夫して作られた優しく読みやすい本のことです。</p> <p>①やさしく読みやすい本の小・中学への周知や学校図書館資料の整備についてお伺いします。</p> <p>②社会教育センターや、仙石原文化センター等の図書室における、やさしく読みやすい本の蔵書状況と今後の取組みなどについてお伺いします。</p>
8 番 川端 祥介	1 箱根町幹部職員の不祥事の経緯と対応等、再発防止について	<p>9 月定例会中、課長がセクハラ事件を理由に辞職いたしました。また、消防本部幹部がハラスメント行為により、減給処分となりました。更に 10 月下旬、神奈川県迷惑防止条例違反の疑いで町幹部が逮捕される事件が相次いで、報道などで知りました。</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(川端祥介)	2 箱根町を訪れる外国人観光客の災害対応について	<p>このような度重なる不祥事に対して、それぞれの経緯と対応、処分、そして再発防止に関して、町の考え方をお伺いいたします。</p> <p>本年は、全国的に地震・台風・水害等多く発生して、海外からの外国人に対する周知・広報・避難・誘導等について課題を残す結果となりました。</p> <p>箱根町として外国人観光客の安全を確保するため、どのような対応をしているのか以下の諸点をお伺いいたします。</p> <p>①町への外国人観光客に対する防災マニュアルの作成や、整備・周知に関してお伺いいたします。</p> <p>②町の施設、町内の宿泊・観光施設における外国人観光客に対する災害への呼びかけ、連携・協力については、どのようなになっているのかお伺いいたします。</p> <p>③町内の各交通機関（公共交通）に対して、外国人観光客に関する災害対応については、どのような連携・協力体制になっているのかお伺いいたします。</p>
12番 石川 栄	1 地震等による軟弱な地盤を考慮した防災対策について	<p>今後、東海、南海、東南海大地震等の発生が想定されており、被害が出ないようにすることが重要である。本年9月に発生した「北海道胆振東部地震」や平成28年の「熊本地震」などでは液状化現象も発生し、家屋や道路を始め、水道、下水道などのライフラインに多数の被害が発生している。また「東日本大震災」では千葉県浦安市において広い範囲で地盤沈下を起こし、地盤の性質、自然の特性を無視した土地利用が被害を招いたとの</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(石川 栄)	2 学校プールの跡地 土地利用計画等について	<p>指摘がなされている。当町においても沼地等を始めとする軟弱な地盤が存在し、こうした土地に対する防災対策が必要と考えられることから、次の3点について伺う。</p> <p>①当町においても液状化現象が起きるような地盤の軟弱な地域を把握しているか。</p> <p>②軟弱な地盤の上に居住する人は、平素より迅速な避難ができるよう周知すべきと考えるが、町として対策を講じているか。</p> <p>③防災マップ等の作成にあたっては、軟弱の地盤についても考慮すべきと考えるが、町の考えを伺う。</p> <p>町内の3小学校の水泳授業は自身の学校に設置されていたプールを利用していたが、現在では「さくら館」のプールを利用するようになり、夏休み中の小学生に対するプール開放についても、「さくら館と富士屋ホテルのプール」を有効利用することが可能になったことにより、現在では、学校プールは使用していない状況となっている。今後の学校プールの跡地土地利用計画等について伺う。</p> <p>①さくら館、富士屋ホテルのプールを水泳授業と夏休み期間中のプール開放のために有効利用していることの効果について</p> <p>②現在閉鎖している学校プールの安全対策について</p> <p>③今後の学校プール跡地土地利用計画について</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
9番 山田 成宣	1 凍雪害の対応について 2 関所 400 年祭について	①国、県、町道の除雪作業の現状について（建設作業会社との契約等） ②すべり止め不携帯の車の対応について ③大雪時に除雪した雪の捨て場について ①実行委員の現在の進捗について ②具体的なイベント等の計画について
1番 山田 和江	1 セクハラ対策について 2 国保における子育て支援対策について 3 本庁舎の急坂対	<p>今、セクハラやハラスメントを根絶する運動が大きく広がっています。こうした中、当町では職員によるセクハラが立て続けに発生し、町民から驚きの声が上がっています。セクハラは重大な人権侵害行為であることから、職場からセクハラを根絶するために、以下の点について質問します。</p> ①今回のセクハラ事件についての町長の見解について ②セクハラ指針について ③相談体制の整備について <p>当町の国保の保険料は応能割と応益割で算定され、応益割には世帯平等割と世帯員の数に応じてかかる均等割があります。特に均等割は生まれたばかりの赤ちゃんにも課せられるもので、家族が多い世帯に重い負担となっています。山口町長は子育て支援に力を入れていますが、この国保においても 18 歳未満の子ども均等割をなくし、子育て支援を行うことを質問します。また、減免制度における、ここ 3 年間の減免内容、件数についても質問します。</p> <p>箱根町役場は高台にあるため、急坂や</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(山田和江)	策にエレベーターの設置を	<p>急階段等を登らないと役場に行けません。バリアフリーが盛んに言われている昨今、車イスで登ってきても降りるのは後ずさりをしなければなりません。高齢者も休み休み手すりにつかまり登って来ざるを得ず、大変難儀をしています。全ての人が車で来るとは限らない公共の施設ですから、バリアフリーは欠かせないと考えます。そこで、現在、消防湯本分署の建て替えが役場下に計画進行中です。この分署の建物のエレベーターを利用して、役場上の駐車場まで行けるよう質問します。</p>